

2020 年度 京都市立芸術大学大学院美術研究科 修士課程入学試験（美術史）

- I. 以下に図版を挙げた①、②、③、④、⑤の作品のうち **3 点** を選び、可能な限り 作者名、制作された時代、美術史上の意義等を挙げつつ、作品の記述と説明 を行いなさい。

（各 10 点、30 点）

ジャン＝オーギュスト＝ドミニク・アングル
《グランド・オダリスク》
パリ、ルーヴル美術館

①

レオナルド・ダ・ヴィンチ
《モナリザ》
パリ、ルーヴル美術館

②

ジョルジュ・ド・ラ・トゥール
《大工の聖ヨセフとイエス》
パリ、ルーヴル美術館

③

ロヒール・ファン・デル・ウェイデン
《十字架降架》
マドリッド、プラド美術館

④

アルノルト・ベックリン
《死の島》
バーゼル市立美術館

⑤

- II. 次に挙げる美術史上の様式・歴史区分から2つを選び、それがいつ頃かを明記し、その時代の特徴と重要な作家、作品等を挙げつつ、解説を書きなさい。

(各10点、20点)

- A. ゴシック B. キュビズム C. 盛期ルネサンス D. ロマン主義
E. ギリシャ美術 F. マニエリスム

III. (1) で挙げた芸術家を、それに対応する (2) の用語と結びつけて、番号とアルファベットで答えなさい。(各 2 点、20 点)

- (1) ① ギュスターヴ・クールベ
② クロード・モネ
③ クリスト&ジャンヌ・クロード
④ フランツ・マルク
⑤ ウィリアム・モリス
⑥ ジュール・パスキン
⑦ グスタフ・クリムト
⑧ ヨーゼフ・ボイス
⑨ ジャコモ・バッラ
⑩ ピエト・モンドリアン

- (2) a アーツ・アンド・クラフツ
b エコール・ド・パリ
c 写実主義
d 未来派
e 新造形主義
f 青騎士
g アース・ワーク
h 分離派
i 印象派
j 社会彫刻

IV. 以下の設問に簡潔に答えなさい。(各 15 点、計 30 点)

1. 19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて、日本美術がヨーロッパの美術界で話題となり、大きな影響を与えました。この潮流を何と呼びますか。また、同現象の美術の分野における主な作家を一人あげ、その作品の特質について簡潔に述べなさい。

2. 1990 年代後半より広く概念が流布し、広く見られるようになった「リレーショナル・アート」について、その特色を具体例を挙げながら述べなさい。